



乗務員、アテンダントが安心して お客さまを迎えられる環境を作り出そう！

申26号「のってたのしい列車」における新型コロナウイルス 感染防止対策に関する緊急申し入れ団交報告

地本は8月18日申26号団体交渉を行いコロナ禍で安心して乗務し、お客さまにも利用頂ける環境づくりを実現することを目指しました。交渉を通じて会社が運行再開した理由、再開に向け講じた感染防止対策を明らかにしてきました。

運行を止めた理由と再開した理由は？

止めた理由は緊急事態宣言と感染防止対策をどのように講じるか当時は不明であったからである。宣言解除と行政から感染防止のガイドラインが出され、それに則り対策を講じる手配を行ったので再開できるという判断をした。

運行再開後の感染防止対策の評価は？

市中で少しずつ感染者が増えているが、列車内において感染はなくガイドラインに沿った対策が社員・スタッフの対応により感染防止対策は評価できる。これで完璧ということではなく必要により今後も必要な対策を講じていく。

各イベント列車の発売制限に対する考え方は？

現段階では感染防止対策が取れているので発売制限は考えていない。列車により発売数は様々だがお盆期間には満席となる列車もあった。

お客さまに対しての感染防止対策は？

乗車されるお客さまに対してスタッフが消毒液の使用を呼びかけ、マスクを所持されていないお客さまには配布し着用をお願いしている。乗車前の検温については現段階では必要ないと考えている。

車両の換気性能について

空調により外気を取り入れていることに加え換気扇が設置されている車両に付いては換気が十分という判断をしている。換気扇がない車両では窓開けや客室ドアを開放して換気を実施している。

私たち東日本ユニオンはJR東日本で働く労働者と お客さまの安全に妥協することなく取り組んでいきます！